

近世道状遺構の集成（6）

近世プロジェクトチーム

はじめに

本プロジェクトチームでは、2015年度より近世道状遺構の集成を行っている。

県内の遺跡で発見され、報告されている近世の道状遺構のデータを集成し、規模や構築方法等について検討していく予定である。今回は、相模原市青根馬渡No.2遺跡、青根馬渡No.4遺跡、大保戸遺跡、畠久保西遺跡、綾瀬市大塚堂遺跡、小田原市小田原城跡八幡山遺構群、足柄上郡大井町矢頭遺跡（No.35）を取り上げる。

凡例

- ・遺構名は報告書の記載に基づく。
- ・縮尺は平面図がスペースに収まるような大きさに適宜変えているため、図ごとに示した。
- ・断面図は報告書に複数記載されている例もあるが、一部を記載することにした。
- ・所在地は現市町村名に変更した。

資料No.	遺跡名	遺構名	文献名
104	青根馬渡No.2遺跡	K 1号道状遺構	1999年『道志導水路関連遺跡 青根馬渡No.1・2・3・4・5遺跡 青根引山遺跡』かながわ考古学財団調査報告59
105	青根馬渡No.4遺跡	K 1号道状遺構	1999年『道志導水路関連遺跡 青根馬渡No.1・2・3・4・5遺跡 青根引山遺跡』かながわ考古学財団調査報告59
106	青根馬渡No.4遺跡	K 2号道状遺構	1999年『道志導水路関連遺跡 青根馬渡No.1・2・3・4・5遺跡 青根引山遺跡』かながわ考古学財団調査報告59
107	青根馬渡No.4遺跡	K 3号道状遺構	1999年『道志導水路関連遺跡 青根馬渡No.1・2・3・4・5遺跡 青根引山遺跡』かながわ考古学財団調査報告59
108	青根馬渡No.4遺跡	K 4号道状遺構	1999年『道志導水路関連遺跡 青根馬渡No.1・2・3・4・5遺跡 青根引山遺跡』かながわ考古学財団調査報告59
109	大保戸遺跡	K 1号道状遺構	2013年『大保戸遺跡』かながわ考古学財団調査報告289
110	畠久保西遺跡	K 1号道状遺構	2014年『畠久保西遺跡』かながわ考古学財団調査報告302
111	畠久保西遺跡	K 2号道状遺構	2014年『畠久保西遺跡』かながわ考古学財団調査報告302
112	畠久保西遺跡	K 3号道状遺構	2014年『畠久保西遺跡』かながわ考古学財団調査報告302
113	畠久保西遺跡	K 4号道状遺構	2014年『畠久保西遺跡』かながわ考古学財団調査報告302
114	畠久保西遺跡	K 5号道状遺構	2014年『畠久保西遺跡』かながわ考古学財団調査報告302
115	畠久保西遺跡	K 6号道状遺構	2014年『畠久保西遺跡』かながわ考古学財団調査報告302
116	畠久保西遺跡	K 7号道状遺構	2014年『畠久保西遺跡』かながわ考古学財団調査報告302
117	大塚堂遺跡	第1号道状遺構	2000年『大塚堂遺跡』かながわ考古学財団調査報告96
118	大塚堂遺跡	第2号道状遺構	2000年『大塚堂遺跡』かながわ考古学財団調査報告96
119	小田原城跡 八幡山遺構群	1号道状遺構	2006年『小田原城跡八幡山遺構群III（第3次調査）』かながわ考古学財団調査報告201
120	小田原城跡 八幡山遺構群	2号道状遺構	2006年『小田原城跡八幡山遺構群III（第3次調査）』かながわ考古学財団調査報告201
121	矢頭遺跡（No.35）	第1号道	1997年『宮畠遺跡（No.34） 矢頭遺跡（No.35） 大久保遺跡（No.36）』かながわ考古学財団調査報告25
122	矢頭遺跡（No.35）	第2号道	1997年『宮畠遺跡（No.34） 矢頭遺跡（No.35） 大久保遺跡（No.36）』かながわ考古学財団調査報告25

資料No.	104	遺跡名	青根馬渡No.2遺跡
所在地	相模原市緑区青根		
遺構名	K1号道状遺構		
道幅	約1.3m		
年代			
備考	検出長約5m、溝状に掘り込まれた道、掘り方底面7箇所にピット状の掘り込みあり		
<p>The figure consists of four parts. On the left is a plan view showing a narrow, elongated depression (the road) running diagonally from bottom-left to top-right. Within this depression, there are seven circular features labeled 1 through 7, representing pit-like excavations. To the left of the depression is a label 'K14土坑'. Three cross-sections are shown on the right: A-A' shows a relatively smooth U-shaped profile; B-B' shows a similar profile with some internal detail; C-C' shows a more complex profile with three distinct layers labeled 1, 2, and 3, where layer 1 contains the circular features. Each cross-section has a elevation label above it: A at 362.40m, B at 362.40m, and C at 362.40m. A horizontal line at the bottom of the plan view is labeled '拡張前の調査区ライン' (Survey area line before expansion).</p>			
縮尺	(平面図) 1/60、(断面図) 1/60		

近世道状遺構の集成（6）

資料No.	105	遺跡名	青根馬渡No.4遺跡	資料No.	106	遺跡名	青根馬渡No.4遺跡
所在地	相模原市緑区青根	所在地	相模原市緑区青根				
遺構名	K 1号道状遺構	遺構名	K 2号道状遺構				
道幅	0.8~1.3m	道幅	0.5~1.0m				
年代	宝永山噴火以後	年代	宝永山噴火以前か				
備考	検出長28m、道志川へ下るための道、地形が急な所は斜面を斜行して下るようになっている、K 2号道状遺構を切る	備考	検出長14.6m、K 1号道状遺構に切られる				
<p>The figure consists of a main plan view on the left and four cross-sections on the right. The plan view shows a winding path labeled 'K 1号道状遺構' leading down a slope. It features several sections labeled '擾乱' (disturbance) and two circular features labeled 'K 1配石土坑' and 'K 2配石土坑'. Four cross-sections are shown with vertical profiles and horizontal scales: A-A' at 321.70m, B-B' at 322.90m, C-C' at 325.40m, and D-D' at 325.30m. Each cross-section shows layers labeled 1 through 4, representing different strata or construction levels of the roads. The cross-sections illustrate how the roads follow the contours of the terrain, particularly where it becomes steep.</p>							

資料No.	107	遺跡名	青根馬渡No.4遺跡	資料No.	108	遺跡名	青根馬渡No.4遺跡
所在地	相模原市緑区青根	所在地	相模原市緑区青根				
遺構名	K 3号道状遺構	遺構名	K 4号道状遺構				
道幅	0.4~0.5m	道幅	0.3~0.5m				
年代		年代					
備考	検出長2.5m、硬化面2枚、K 1号・K 2号道状遺構のどちらかと同一の道	備考	検出長4.0m、硬化面1枚				
縮尺	(平面図) 1/60、(断面図) 1/60	縮尺	(平面図) 1/60、(断面図) 1/60				

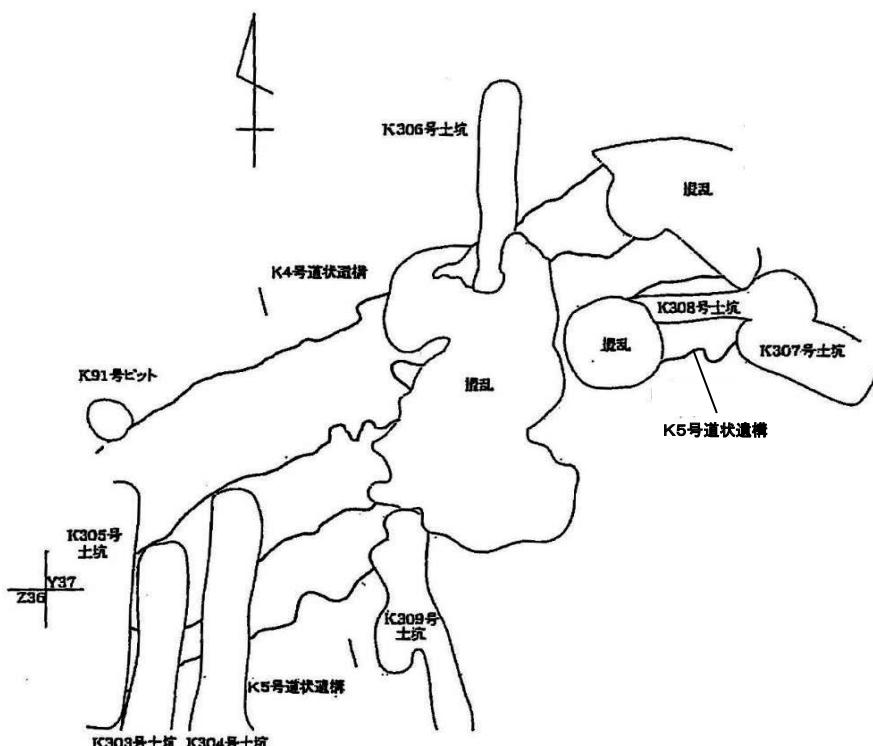
近世道状遺構の集成（6）

資料No.	109	遺跡名	大保戸遺跡
所在地	相模原市緑区小倉		
遺構名	K 1号道状遺構		
道 幅	0.28~0.56m		
年 代			
備 考	検出長約14.1m、硬化面厚さ10cm、側溝と考えられる溝が硬化面の両側にあり、溝の規模は幅0.2~0.74m・深さ8~9cm		
縮 尺	(平面図) 1/80、(断面図) 1/80		

資料No.	110	遺跡名	畠久保西遺跡	資料No.	111	遺跡名	畠久保西遺跡
所在地	相模原市緑区城山	所在地	相模原市緑区城山				
遺構名	K 1 号道状遺構	遺構名	K 2 号道状遺構				
道幅	0.8m	道幅	0.72m				
年代		年 代					
備 考	検出長4.6m、硬化面の一部確認、K 2 号道状遺構と交差している	備 考	検出長7.12m、硬化面の一部のみ確認、断面レンズ状を呈する				
縮 尺	(平面図) 1/80、(断面図) 1/60						

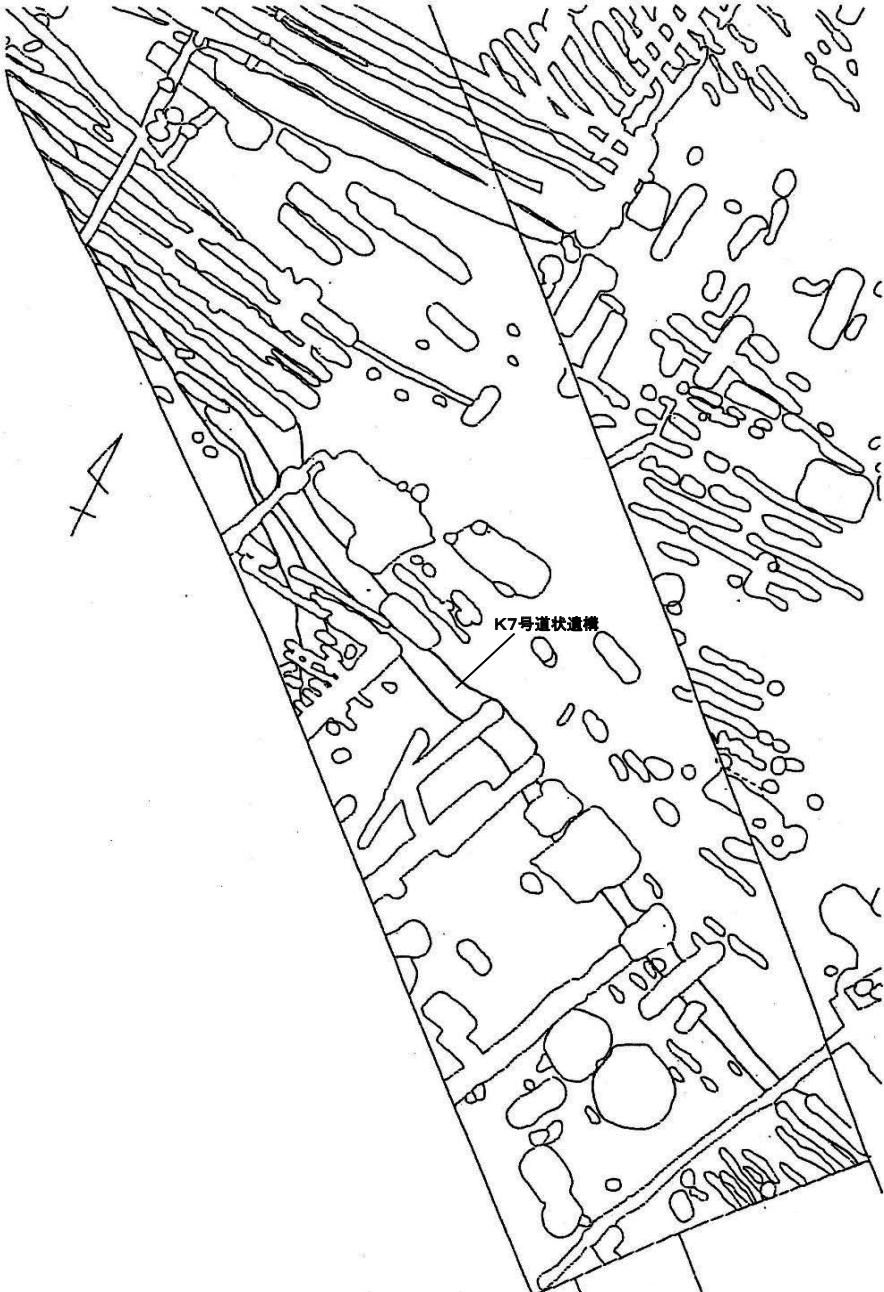
資料No.	112	遺跡名	畠久保西遺跡
所在地	相模原市緑区城山		
遺構名	K 3 号道状遺構		
道幅	0.3m		
年代			
備考	検出長12.84m、硬化面の一部のみ確認、断面やや開いたU形を呈する		
縮尺	(平面図) 1/80、(断面図) 1/60		

資料No.	113	遺跡名	畠久保西遺跡	資料No.	114	遺跡名	畠久保西遺跡
所在地	相模原市緑区城山	所在地	相模原市緑区城山				
遺構名	K 4 号道状遺構	遺構名	K 5 号道状遺構				
道幅	0.96m	道幅	0.62m				
年代		年代					
備考	検出長6.24m、硬化面の一部のみ確認、断面レンズ形を呈する	備考	検出長7.84m、硬化面の一部のみ確認、断面レンズ形を呈する				

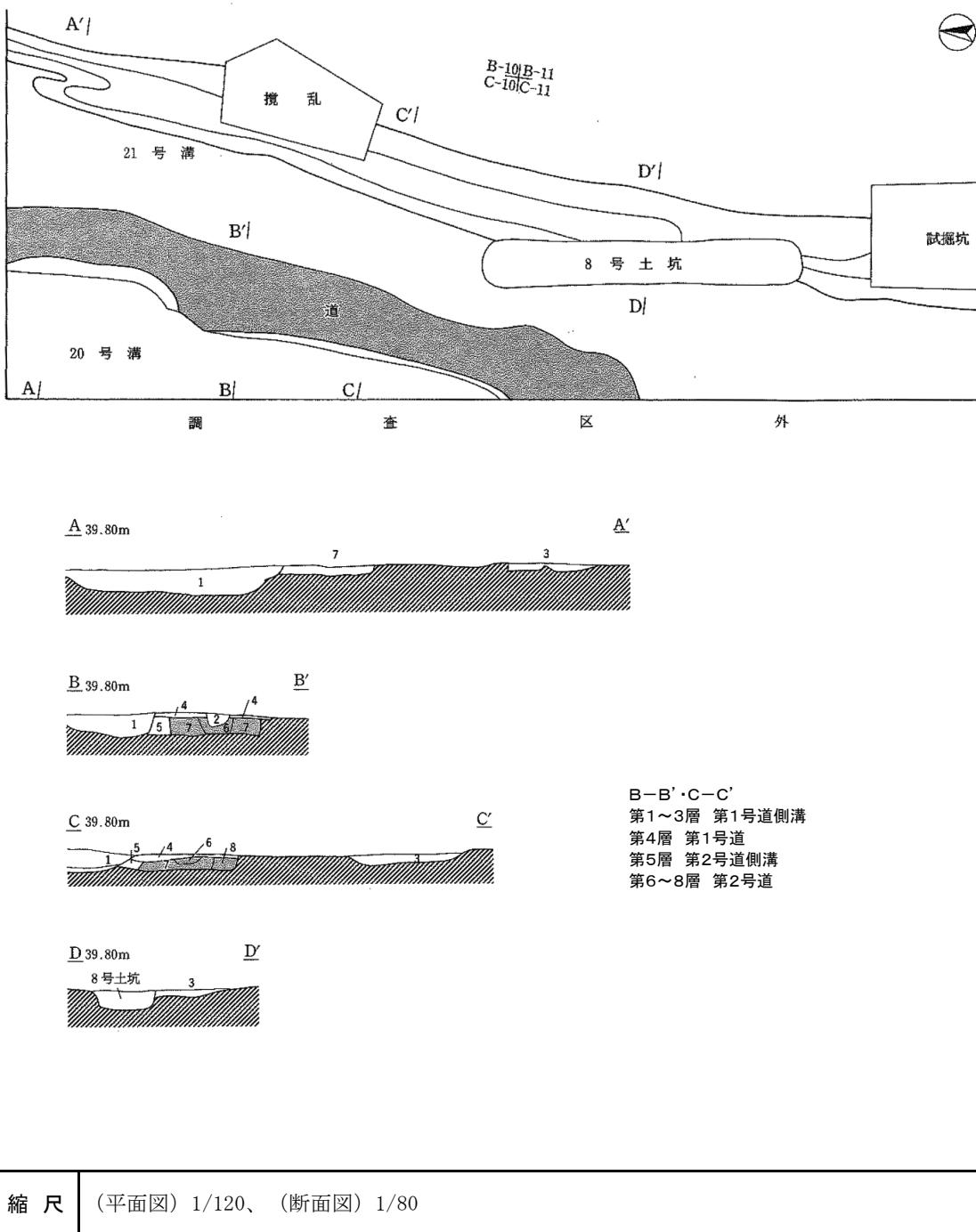


縮尺	(平面図) 1/80、(断面図) 1/60
----	-----------------------

資料No.	115	遺跡名	畠久保西遺跡
所在地	相模原市緑区城山町		
遺構名	K 6 号道状遺構		
道幅	0.35m		
年代			
備考	検出長約6.85m、硬化面の一部のみ確認、断面U字形を呈する		
縮尺	(平面図) 1/60、(断面図) 1/60		

資料No.	116	遺跡名	畠久保西遺跡
所在地	相模原市緑区城山町		
遺構名	K 7号道状遺構		
道 幅	0.5m		
年 代			
備 考	検出長約36.2m、硬化面が確認されたのみ		
			
縮 尺	(平面図) 1/200		

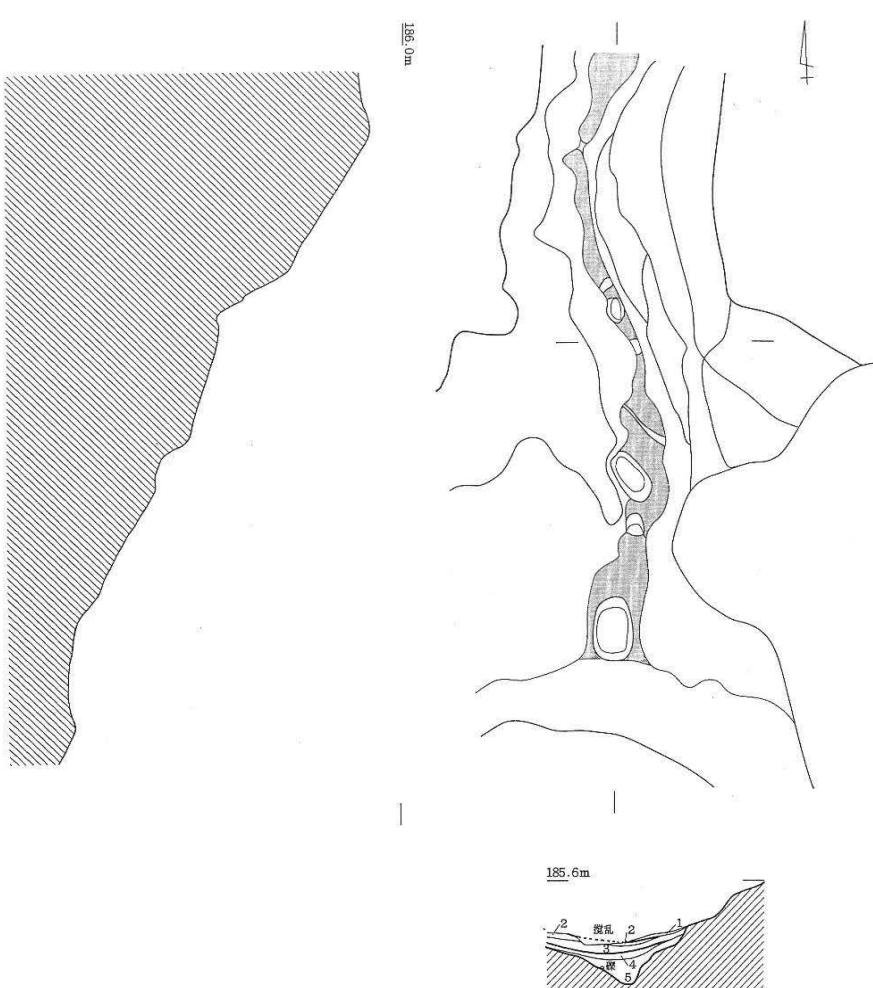
資料No.	117	遺跡名	大塚堂遺跡	資料No.	118	遺跡名	大塚堂遺跡
所在地	綾瀬市深谷落合	所在地	綾瀬市深谷落合				
遺構名	第1号道状遺構	遺構名	第2号道状遺構				
道幅	1.2m	道幅	1.2m				
年代	近世以降	年代	中世以降				
備考	検出長11m、第20号・21号溝状遺構が側溝として機能	備考	第1号道状遺構の下層に位置する、西側に側溝を持つ				



資料No.	119	遺跡名	小田原城跡八幡山遺構群	資料No.	120	遺跡名	小田原城跡八幡山遺構群
所在地	小田原市城山		所在地	小田原市城山			
遺構名	1号道状遺構		遺構名	2号道状遺構			
道幅	0.4~1.4m		道幅	0.2~1.2m			
年代			年代				
備考	検出長約17.2m、硬化面ブロック5箇所		備考	検出長南側14.1m・北側3.9m、攪乱を挟んで分断されているため一連の遺構か不明、硬化面ブロック4箇所			
<p>The figure consists of several parts: - A main plan view showing two parallel roads, labeled '1号道' and '2号道'. The '1号道' is on the left, featuring irregular sections and labels like '1土' (earthenwork), '擾乱' (disturbance), and '第1次調査 (※渠蓋範囲)' (First survey (※drainage cover range)). - A cross-section labeled 'A-A' showing a stepped profile with a horizontal dimension of 'A 68.40m'. - A cross-section labeled 'B-B'' showing a stepped profile with a horizontal dimension of 'B 68.40m'. - A cross-section labeled 'C-C'' showing a stepped profile with a horizontal dimension of 'C 68.40m'. - A vertical profile on the far left labeled '調査区外' (Outside investigation area) with labels '1号道' and '2号道'.</p>							
縮尺	(平面図) 1/100、(断面図) 1/60						

近世道状遺構の集成（6）

資料No.	121	遺跡名	矢頭遺跡（No.35）			
所在地	足柄上郡大井町大字柳字下矢頭					
遺構名	第1号道					
道幅	0.5~0.9m					
年代	宝永スコリア降灰以前					
備考	検出長17.75m、斜面を下る道、階段状の小さい掘り込み9カ所、断面台形の掘り方上面に硬化面、第2号道と直交するが前後関係は不明					
縮尺	(平面図) 1/150、(断面図) 1/150					

資料No.	122	遺跡名	矢頭遺跡（No.35）
所在地	足柄上郡大井町大字山田字大久保		
遺構名	第2号道		
道幅	0.42m		
年代	宝永スコリア降灰以前		
備考	検出長14.6m、硬化面が部分的に残る、第1号道と直交するが前後関係は不明		
 <p>The figure consists of two parts. The upper part is a plan view showing a narrow, winding path or canal-like feature with a shaded area indicating a paved surface. The lower part is a cross-section labeled '185.6m' at the top, showing layers of earth and debris with numbered layers (1 through 5) and a label '擾乱' (disturbance). A hatched area is shown on the left side of the cross-section.</p>			

縮尺	(平面図) 1/150、(断面図) 1/150
----	-------------------------